

平成29年10月20日

川西市長 大塩 民生 様

川西市地域医療懇話会
座長 藤末 洋

川西市における地域医療の連携・協力のあり方について（答申）

市長から諮問のありました川西市における地域医療の連携・協力のあり方について、本懇話会として審議を重ねた結果、次のとおり答申いたします。

記

1 一時的に入院が必要となった患者の受け入れについて

引き続き、市と医師会を中心とした検討を進めること。

<意見>

兵庫県の地域医療構想にて、「住民が、住み慣れた地域で生活しながら、状態に応じた適切に必要な医療を受けられる」地域完結型医療を構築するため、医療機能の分化・連携や在宅医療の充実等に向けた取り組みを進めることが求められている。

本市においても、地域包括ケア病床の充実や認知症への対策など、将来を見据えた各病院の機能分担を図る必要がある。そのためには、（仮称）市立総合医療センターが市内各病院との協力・連携のもとで、川西市における基幹病院としての役割を果たす必要がある。

また、地域包括ケアシステムの構築に向けては、在宅医療・介護連携推進協議会や関係機関等と連携し、川西市の特性に応じた体制を構築することが重要である。

2 現在の市立川西病院をかかりつけ医としている患者の対応について

北部急病センターについては、名称や機能等を含め、再検討すること。

<意見>

- ・救急機能については、他の救急告示病院等で補完可能であるため、北部急病センターでは24時間体制の急病対応は必要ないと考える。
- ・外来患者の対応については、原則として開業医が受け入れすべきであるが、予定しているセンターにおいても、診療科目の充実や休祭日の対応など臨機応変な体制整備を検討されたい。
- ・近隣開業医からのMRIやCT等の検査依頼への対応を検討されたい。